

ひよし社協

日吉地区社会福祉協議会

第69号

発行日 令和7年1月1日
発行 会長 青 博 孝
編集 日吉地区社会福祉協議会
☎ 090-2733-0461
印刷 有限会社 創文社

会長就任の挨拶

日吉地区社会福祉協議会 会長 青 博 孝



新年明けましておめでとうございます。ご家族揃いで、清々しいお気持ちで新年を迎えられました事お喜び申し上げます。

昨年5月末の総会で、片野会長より日吉地区社会福祉協議会の会長を引き受けて頂きました。今まで、副会長として、様々な事業の運営に携わって参りましたが、いざお引き受けますと、自分の立ち位置の違いで業務運営の難しさを感じさせられ、改めて前会長の十数年間のご努力に敬意を表します。

一昨年は小島日吉地区連合会長より、会長のバトンを受け運営させて頂いていましたので、日吉地区連合会と日吉地区社協合わせての一体運営が、それぞれの役員様のお力添えを頂き、本年は効率的な運営を行ってまいりたいと考えております。

1月26日は、今回で3回目のふくふくスタンプラリーが開催されます。今回は時間を変えて開催しますので楽しみにして下さい。各地域には様々な解決しなければいけない課題があると思います。比較的若いと言われる日吉地区は、区内で最多の約8万人が生活する地域です。多くの人口を擁しながらも、日吉地区社会福祉協議会をはじめ、自治会・町内会、民生委員・児童委員協議会など多くの団体が連携しながら、地区全体が一丸となって住民同士の交流や地域のつながりづくりに取り組みされており、港北区の地域福祉保健計画「ひととプラン港北」の日吉地区計画では、「光と活力に満ちあふれる日吉」を地区計画目標として、課題に応じた様々な活動に取り組まれています。



新年あけましておめでとうございます。日吉地区の皆様におかれましては、健康やかに新年を迎えることお慶び申し上げます。

新年の御挨拶

港北区長 竹下 幸紀



り深く知っていた、ただけのよう、各地区で工夫を重ねていらっしゃる。また、幅広い福祉活動を支援するための「光と活力推進事業助成金制度」により、9つの団体活動を支援されています。こうした取組や仕組みが、より多くの住民が地域活動を知る機会や活動の充実につながるものと確信しています。

「ひととプラン港北」は、今年で第4期計画の5年目を迎えます。皆様におかれましては、これまでの第4期期間の地区の取組を振り返るとともに、第5期の計画策定に向けて検討を進めていらっしゃると思います。区職員も日吉地区の皆様と一緒に地域づくりを進めて参りますので、引き続き御理解、御協力を賜りますようお願いいたします。

皆様の新一年が素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

港北区社会福祉功労者表彰

第四十二回港北区社会福祉大会にて日吉地区社会福祉協議会からは地域福祉活動功労者を青木あけみ様、小川一様、菊地原邦子様、小島清様、佐藤信哉様、鈴木由美子様、田邊美紗代様が受賞され、ボランティア活動功労者を小川保子様、小元ヨシノ様（両名とも日吉地区社協ボランティア連絡会推薦）、他2名の方が受賞されました。皆さま、おめでとうございます。

ア・ラ・カ・ルト 日吉台小学校 マスコットキャラクター 「ぶんかちゃん」



有志の子どもたちによってオリジナルカラーで塗られた、たくさんのぶんかちゃんが、学校の外フェンスや校内を飾っています。いろんな表情のぶんかちゃんがあります。学校の近くを通る時はぜひご覧ください。

■賛助会費ご協力のご報告
日吉地区では、445名の賛助会員の皆さまより、962,000円のご協力をいただきました。ありがとうございます。

■年末たすけ合い運動募金のご報告
今年度も日吉地区の各町内会・自治会を通して募金をお願いしましたところ4,600,000円のご寄付をいただきました。ありがとうございます。

第3回「ふくふくスタンプラリー」開催!! 今年度も「ふくふくスタンプラリー」の開催が決まりました。

例年通り、スタートもゴールも自由です。
マップはフット地点でもえます。
今年も赤いノボリを目印にスタートしましょう!!



◆日時：令和7年1月26日(日) 10時～14時
◆場所：日吉地区全域です!!
※地図参照（日吉町1～7丁目、日吉本町、箕輪町、下田町）

初めて参加の人も、前回、行けなかったところに行ってみよう!と思っている人も楽しみながら、ワクワクしながら、一人でも、親子でも、みんなで回って地域の福祉を知ってもらいたいです。

今年のスタンプラリーは日吉地区を7つのエリアに分けて、エリアごとに工夫を凝らして福祉を紹介しています。

是非、各エリアのポイントを楽しんでください。

ポイントを回って各エリアのスタンプをコンプリートすると賞品がもらえます。

※賞品、缶バッジ、各地区景品には数に限りがあります。なくなってしまうらごめんなさい。スタッフ一同、各地区ポイントにてお待ちしております。

日本の伝統文化を学ぶ

下田地区民児協 佐久間かおり



下田地区の恒例となった主任児童委員を中心に行う子どもイベント「わらわら」今回は日本の伝統文化を体験してみよう!!と茶道具や美味しい和菓子とお抹茶を用意して本格的なお茶会を開催しました。「お点前のいただき方」をスライド写真で学んだ後に実際に体験してもらいました。当日はあいにくの雨でしたが保護者を含め約100名の参加があり、多くの子ども達に喜んでもらえて大成功に終えることが出来ました。終了後のアンケートには「下田町地域が又好きになる企画でした」「なごの嬉しい言葉を沢山聞かせて頂きました。私自身、茶道は未経験でしたのでとても良い機会になりました。今後一人暮らし高齢者イベント「シルバリーフの会」と並行して子供から大人まで下田町を益々好きになってもらう活動を委員の皆様と楽しみながら行っていききたいと思っています。

「日吉ITサロン」でお悩み解決

日吉地区民児協 板垣 文男



ひろがる・つながる「日吉ITサロン」はご存知ですか?一年前から活動して今では「なごよし」と連動した会場狭しと人の交流場所となっています。よくある相談はメールの一言削除、QRコード、写真の送信等最近では写真に映り込んだ邪魔なものを消す「消しゴムマジック」操作方法などパソコンやスマホの使い勝手解らない事やこんな事出来るんだ等、目からウロコが落ちる相談事を解決する為に奮闘しています。主催者もプロではありません。それぞれ機種仕様対応で困惑すること有り即日解決出来ない時は宿題にして又来てよ(笑)の声が飛び、リピータが仲間を連れサロンは賑わいを増すばかり「日吉ITサロン」が「会いてえサロン」に様変わりです。ガラケーからスマホへ心配ありません。待つてまうす。ご案内「日吉ITサロン」毎月第4金曜日午後1時より日吉自治会館1階にて※遺言・相続・後見人の無料相談も行っています。

東野醒子さんの講演会「耳で観る世界」

箕輪地区民児協 藤原由美子



昨年9月、日吉本町ケアプラザで開催された東野醒子さんのお話を、研修としてお聞きしました。30代で網膜色素変性症になり、劇団員として舞台に立つ時、字が見えにくくなっていくのを劇団仲間へ告白できずにいたとか。舞台ライトの光が目によくないということに最終的に皆に告白し、現在は95パーセント視野がない中で舞台俳優としての活動を続けています。以前は持つのに抵抗のあった白杖も今は持ち歩いて、障がいへの理解促進・想像力の育成・ユニバーサルな社会・地域で共に育つことの大切さを発信し続けていらつしやいます。舞台では朗読劇を通して「思いやりのある心」を伝える活動をなさっているそう、力強い声色と明るさに元気をいただきました。いつか必ず舞台での朗読劇を観に、聞きに行きたいと思っています。

日吉地区社会福祉協議会の活動

にしっ子 フラワーアレンジメント教室

日吉本町西地区主任児童委員 小泉紗規子



『どの面から見るかによって、お花の顔をどちらに向けるか考えてみてね!!』港北区『まちなみ先生』で、お花を楽しむ心を育てることを大切にされている荒巻先生のアドバイスのもと、12人の小中学生が思い思いに花を挿していきます。花やグリーンなどは同じものでも子どもたちの感性が活かされた個性ある素敵な作品が次々に出来上がりました。まだ暑い8月末でしたが、とても可愛らしい向日葵のアレンジメントに私たちも元気をもらいました。

日吉本町西地区に住む子どもたち「にしっ子」、今回は初めての小中学生向けのイベント開催でした。試行錯誤はありましたが『楽しみにしていた!参加して良かった!』という声を多くいただき、安堵しています。『子どもたちを見守る地域の目』があると心強いです。という学校の先生方のお話もあり、これからの地域で子どもたちの成長を見守れる環境を整えていきたいと思っています。

「最後の活動を終えて」

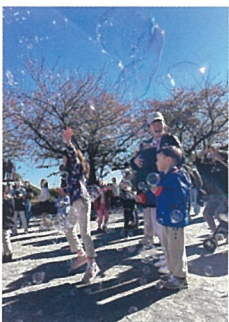
ふれんど代表 畔柳 実栄



障がい児のよりどころ「ふれんど」は昨年の10月をもって活動を終了いたしました。ふれんどは地域福祉保健計画ひとつとプランの第2期日吉本町地区の取り組みとしてスタート。平成23年からコンフォール南日吉の集会所を拠点とし、地域の方々に身近に住む障がいのある人達のことを知っていただくこと、また顔の見える関係づくりを目的とし活動してまいりました。コロナ禍になるまで10年近く月一で活動が続けられたことで、多くの人と知り合い、街中で声を掛け合える関係を築けました。最後の活動には地域の方が沢山参加してくださり、いつものように各々が好きな遊びをした後は皆でお菓子をいただくなど楽しい時間を過ごすことができました。長い間活動を支えてくださった皆様、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

みんなでシャボン玉を飛ばして遊ぼう

日吉町宮前自治会 会長 井上 清一



昨年11月24日(日)天気は晴れ、風の強さもよし、風向きもよし、今日はシャボン玉とばしに本当に良い一日でした。ケア委員会の子育て支援班がチビっ子達と一緒に遊べるものはないか、と言うことから始まった今回の企画です。地元の矢上川沿いの公園でシャボン玉おやじ&ルムさんを招いての実演。小さなシャボン玉から大きなシャボン玉を追いかけると子ども達は本当に楽しそうでした。子どもから親御さんまで小さなシャボン玉を通して、つながりが広がる感じがします。子ども達が自分の吹き具作りをして自由に飛ばせたことも良い経験になったと思います。何度もチャレンジして自分で手作りしていました。

帰り際に子ども達から「今日は楽しかったです」の一言をもらい、スタッフ一同大喜びでした。また来年も何か企画しよう、と、そんな気持ちになりました。

地域食堂「日吉本町ひっぱ食堂」

「日吉本町ひっぱ食堂」の佐藤さん取材させていただきました。一人で食事をするのは物足りないな...周りでいるような大人の優しい声が聞こえるそんな中で食事が出来たらきっと美味しいものがあつと美味しくなるのにと、思いはあつてもあと半歩がなかなか踏み切れないそんな時にケアプラザを使ってやってみたら?の一言で一気に現実になりました。今は予約制なので保護者が予約をしてくれました。今日はチヨットゆつくりオシャベリしながら、そして、今日は楽しそうなお子どもらの声を聞きながら、とか。

一人で来ても独りじや無い、周りに皆が待っていてくれますヨ!



日吉社協 施設見学研修会を終えて

日吉本町西地区 鈴木由美子

昨年11月26日、南足柄市にある障害者支援施設足柄療養園に36名が日吉を朝7時過ぎにバスで出発し道の駅で休憩を入り10時前に到着しました。

県西福祉会の柴田理事長から療養園の事業概要と障がい者の理解についてをクイズ形式を交え説明を受けました。次に、施設の利用者から病気の経過状況で苦しかった体験を熱心にお話して頂きました。この施設は徹底した感染予防を実施しているため今回施設内見学が出来ませんでした。施設では「たまご」にこだわった手づくりお菓子が販売されており、参加者はたくさん買い求め療養園をあとにしました。朝早くから1日有意義な時間過ごす事が出来、大変お疲れ様でした。

編集後記

社協だより編集を引き継ぎ早や四度目の発行。

地域の皆様に知っていただきたい活動はまだたくさん!今年もどうぞよろしく。

(編集委員) ◎山科・足立(真)・石井・石川・板垣・田中・河内・鈴木 ◎印は編集長